慶應義塾大学学術情報リポジトリ
Keio Associated Repository of Academic resouces

Title	圓珠庵寄託契沖著述稿本類等目録
Sub Title	A catalog of Keichū's manuscripts and other materials in Enjuan's collection
Author	一戸, 渉(Ichinohe, Wataru)
Publisher	慶應義塾大学附属研究所斯道文庫
Publication year	2023
Jtitle	斯道文庫論集 (Bulletin of the Shidô Bunko Institute). No.57 (2022.) ,p.477- 500
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	
Genre	Departmental Bulletin Paper
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00106199-20220000-0477

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

圓珠庵寄託契沖著述稿本類等目録

一戸　渉　編

本稿は現在、慶應義塾大学附属研究所斯道文庫に寄託されている圓珠庵（大阪市天王寺区空清町）の所蔵資料五十九点の目録である。これら五十九点のうち、三点を除く五十六点は一九八八年に一括して「契沖著述稿本類」との称で文化庁より重要文化財に指定されており[1]、近世日本を代表する国学者契沖（一六四〇～一七〇一）の自筆稿本や手沢本・筆写本などから成るきわめて貴重な資料群としてひろく学界に知られている。これら圓珠庵所蔵資料は大正十一年（一九二二）より長らく大阪府立中之島図書館に寄託されていたが、同館での書庫建て替えに伴い、所蔵者である圓珠庵ご住職のご意向により、このたび当文庫において資料をお預かりすることとなった。記録のためにこの間の経緯を以下に略述しておく。まず二〇二一年十一月に圓珠庵ご住職より斯道文庫側に打診があり、同年十二月から翌年一月にかけ斯道文庫及び慶應義塾内部での協議と検討、また大阪府立中之島図書館側との調整を経て、二〇二二年二月二十三日から二十四日にかけて資料の搬出入を実施した。

これらの資料についてはすでに八木毅による目録[2]が備わるほか、文化財指定時に作成された文化庁による謄写版の

目録[3]があり、また戦前の朝日新聞社版及び戦後の岩波書店版のふたつの『契沖全集』において底本として利用され、あるいは詳細な解題がなされているものも少なくない。さらに「契沖著述稿本類」に含まれる契沖による仏書等の抜書類に関しては築島裕による検討も備わる。[4]したがって本稿はともすれば屋上屋を架すがごときものであるかも知れない。とはいえ仔細に見ればそれぞれの目録や解題類にはたがいに部分的な記述の齟齬が認められ、あるいは若干の補訂が必要かと思われる点も少なくなく、また当文庫での管理上の面からも、今回の寄託に際して改めて全点を調査し、目録整理を行うこととした。

とくに整理資料名に関しては、大阪府立中之島図書館への寄託以前の明治から大正期にかけて施されたと思しき補修や後補表紙及び外題の付加により、結果として資料の実態に即しているとは言い難い形となっているものが少なくないのが現状である。それらについては旧資料名を注記した上で、過去の目録・解題等をも参考にしつつ、より適切と思われる形に変更している。調査の過程で従来の研究では注意されていなかった『厚顔抄』及び『古今余材抄』の草稿断簡を新たに見出したが、それらについては別途論じている（本輯所収の拙稿「契沖自筆『厚顔抄』『古今余材抄』新出断簡について―附『〔住友周富十七回忌追悼歌集〕』翻印―」参照）。なお、先述の通り、これらの資料には重要文化財の「契沖著述稿本類」に加え、圓珠庵伝来の典籍三点（『〔住友周富十七回忌追悼歌集〕』及び『訳文筌蹄』二点）が含まれている。このことから当文庫では圓珠庵からの寄託資料の総体については「契沖著述稿本類等」と呼称することにしたい。

この契沖著述稿本類等の整理に際しては、大阪府立中之島図書館において付された一から五九までの通し番号を生かしつつ、他の斯道文庫所管資料とコレクション単位で区別するために請求記号に「エ」を冠し、また員数を示す数

字を末尾に付した。たとえば大阪府立中之島図書館での整理番号が十七番の『厚顔抄』は冊子体三冊であるから、斯道文庫での請求番号は「エ173」となる。目録上の記述事項は、第一行に資料名・巻数及び存巻状況・作成地の別（今回は和書のみ）・形態・請求番号を示し、第二行に編著者名（複数資料からの抜書で、逐一記述していては煩瑣となる場合は空欄とした）・成立時期・刊写の別・刊写者名を示し、第三行以降に印記・書入・奥書・識語その他の書誌的特徴を記した（資料名を改めた場合、旧資料名をここに掲げた）。長文の奥書は適宜略記した。点数が限られていることから分類は行わず、現在の整理番号の順に掲げた。

注

（1）「契沖著述稿本類」として指定されている文化財にはこの五十六点に加えて藤原漢斎筆の契沖像一幅も含まれているが、こちらは圓珠庵において保管されており、斯道文庫への寄託資料中には含まれない。

（2）八木毅「円珠庵の蔵書について」（『語文』第三号、一九五一）、のち大阪国文談話会編『大阪の和学』（和泉書院、一九八六）に補訂版収録。

（3）文化庁文化財保護部美術工芸課編『契沖著述稿本類目録』（文化庁文化財保護部美術工芸課、一九八八）。

（4）築島裕「契沖の語学と仏書」（築島裕・林勉・池田利夫・久保田淳『契沖研究』（岩波書店、一九八四、所収））。

【附記】本稿を成すにあたり、圓珠庵住職の杉山契光氏、大阪府立中之島図書館館長の小原理恵氏、同館司書の宇円田陽子氏、乾ゆかり氏には格別のご高配を賜りました。記して鳴謝申し上げます。なお本研究はJSPS科研費19K00351の助成を受けたものである。

般若無尽蔵印咒第十二・不空摩尼供養品第七十・仏説陀羅尼集経・涅槃経　和半　エ11

闕名者撰　〔江戸前期〕写（契沖等三筆）

原表紙 外題「般若無尽蔵陁羅尼品／不空摩尼供養品／仏説陁羅尼集経　涅槃経」表紙墨書「契沖」「八ノ内」ノドに契沖筆丁付等あり 印記「圓珠庵」各抜書 旧資料名「般若無尽蔵陀羅尼品外三種」

守護国界経阿闍世受記品・不空羂索神変真言経第二十二・不空羂索経二十一　和半　エ21

闕名者撰　〔江戸前期〕写（一筆）

原表紙 外題「守護経／不空羂索経」表紙墨書「契沖」「八ノ内」ノドに丁付あり 印記「圓珠庵」各抜書 旧資料名「守護経、不空羂索経」

仏祖統紀・不空羂索毗盧遮那大灌頂光明真言・起信論・梵網経上・文徳実録・日本後紀　和半　エ31

闕名者撰　〔江戸前期〕写（契沖等三筆）

原表紙 外題「仏祖統紀　光明真言／起信論文　梵網経上／文徳実録　日本後紀」表紙墨書「契沖」「八ノ内」ノドに丁付あり 印記「圓珠庵」各抜書 旧資料名「仏祖統紀外六種」

〔日本国現報善悪霊異記注〕　和大　エ41

〔契沖〕撰　〔江戸前期〕写（〔契沖〕）

後補表紙 外題「日本国現報善悪霊異記上」表紙貼紙墨書「鑑査／第五七〇二号／一巻」「第三十八号」見返し墨書「八十三枚」内題「日本国現報善悪霊異記上」ノドに丁付あり 印記「圓珠庵」旧資料名「日本国現報善悪霊異記」岩波書店版契沖全集第十五巻底本

涅槃経

闕名者撰　〔江戸前期〕写（〔契沖〕）　和横　エ51

原表紙 表紙貼紙墨書「鑑査／第五七〇二号／一巻／涅槃圣（ママ）」「第卅五号／壹冊小本」表紙墨書「契冲師手跡」見返し裏に「冲上人自詠自筆一紙（中略）天明三年」云々とある紙片を挟む 抜書

〔涅槃経要文二〕

闕名者撰　和横　エ61　〔江戸前期〕写（〔契沖〕）

後補表紙 外題「又解脱者名曰」印記「圓珠庵」旧資料名「涅槃経要文二」

涅槃経要文一（内表紙外題）

闕名者撰　〔江戸前期〕写（契沖）　和横　エ71

後補表紙 外題「涅槃経序品曰」内表紙墨書「契沖」印記「圓珠庵」

涅槃経要文四（内表紙外題）　和横　エ81

闕名者撰　〔江戸前期〕写（契沖）

後補表紙 外題「大般涅槃経会疏解巻第二十六」内表紙墨書「契沖」印記「圓珠庵」

涅槃経要文三（内表紙外題）　和横　エ91

闕名者撰　〔江戸前期〕写（契沖）

後補表紙 外題「大般涅槃経梵行品之二」内表紙墨書「契沖」内題「大般涅槃経梵行品之二」印記「圓珠庵」

秘珍抄（内表紙外題）　和横　エ101

闕名者撰　〔江戸前期〕写（〔契沖〕）

後補表紙 外題・内題「七支念誦随行法 不空」儀軌類の抜書 紙背は徒然草寿命院抄の江戸前期写本断簡（筆写者未詳・一筆）墨書「契沖書」ある紙片附帯 旧資料名「七支念誦随行法外二十八種」

色葉和難集一〇巻　和大　エ113

闕名者撰　〔江戸前期〕写（一筆）

原表紙 各冊表紙貼紙墨書「鑑査状／第五七〇一号」見返しに墨書「百壹枚」（第一冊）「百拾五枚」（第二冊）「百三拾二枚」（第三冊）小口書「和難集上（中・下）」ノドに「色葉上（中・下）」及び丁付あり 本文は精撰本系統 契

沖筆ある紙片・貼紙附帯 印記「圓珠庵」『〔釈教歌抜書〕』（エ31 1）と同筆

詞林采葉抄一〇巻　　和大　　エ123

由阿撰　　〔江戸前期〕写（三筆）

原表紙 表紙貼紙墨書「鑑査／第五六九九号／三巻」「第壱号／三冊上中下」小口書「詞林采葉　上（中・下）」契沖筆朱筆書入及び貼紙あり 各冊末尾に識語「東本願寺所献也」奥書「先年草案之本紛在之間重写之／應安二年三月十八日頽（タヽ）齢七十九右筆可取之」「去年（貞治四）秋比二条関白殿下仰冷泉相公（中略）深□之底莫出門外而已／貞治丙年十一月廿五／楡柳営辺藤澤山隠侶棄門由阿（春秋七十一）」「右此十巻復三帖詞林采葉抄者本是東本願寺被贈水戸源三品卿之本也源君因命万葉代匠記（挿入符あり傍記「貧道」）為検閲轉賜而已／元禄二年初春　密乗遺資契沖」某年正月十四日圓珠庵宛西田宗輔書状（小瘡薬調合依頼）・某年三月仏性庵宛佐野□七書状・闕名和歌草案各一紙附帯 印記「圓珠庵」

和字正濫要略　　和大　　エ131

契沖撰　　〔江戸前期〕写（一筆）

列帖装 原表紙 押八双あり 表紙貼紙墨書「鑑査／第五七〇一号／一巻」奥書「元禄十一戊寅五月初八日　契沖」岩波書店版契沖全集第十巻底本

禁秘御抄・九條殿遺誡・祭弘法大師文・釈書玄賓伝（外題）和半　エ141

〔江戸前期〕写（契沖等二筆）

原表紙　表紙墨書「契沖」「八ノ内」表紙貼紙墨書「表岳書契沖」ノドに丁付あり　印記「圓珠庵」禁秘抄・拾芥抄・本朝文粋・元亨釈書からの抜書　旧資料名「禁秘御抄外三種」

倭謌三式（浜成一喜撰二　孫姫三）（外題）　和半　エ151

闕名者編　藤原浜成・伝喜撰・伝孫姫撰　元禄十年写（契沖）

原表紙　表紙貼紙墨書「鑑査／一巻／第五六九九号」「第七号／壱冊」印記「貞」歌経標式（浜成式）・和歌作式（喜撰式）・和歌式（孫姫式）及び奥義抄・仙覚抄・袖中抄からの抜書　朱筆・藍筆・薄黄筆の校合書入あり（朱筆のみ契沖筆）ノドに契沖筆丁付あり　奥書「三式聞名久矣（中略）以期它日会衆本為完本云／秀明（印記摸写「松下見林」）」（印文松下見林）「元禄十年八月十七日書写畢見林本孫始浜成喜撰故奥書如此今以此式置第二孫姫為第三矣」（以上、和歌作式）「長禄四年庚辰正月十六日以顕昭本令書写畢／東山隠士圓雅」「以彼圓雅上人自筆本不替一字令書写畢／寛正第四年十月廿日雨中書之／従五位上大蔵大輔橘朝臣／業文」（以上、和歌式）「右自奥義抄至袖中抄所引之三式中歌等任見及書加之其間文字有誤脱後人得善本正之且有遺漏者書添耳／元禄十年九月廿四日　愈識教沙門契沖／孫姫難喜撰長歌式因茲居第三矣」（巻末）旧資料名「倭謌三式」岩波書店版契沖全集第十五巻底本

新勅撰集評注（外題）二〇巻　和半　エ162

契沖撰　　元禄十二年写（契沖）

原表紙　押八双あり　表紙貼紙墨書「鑑査／二巻／第五六九九号」「第六号／二冊」内題「新勅撰」見返し墨書「真書紙数／四十七枚」（乾冊）「紙数六拾九枚」（坤冊）ノドに契沖筆丁付あり　印記「圓珠庵」奥書「元禄十二年五月廿六日草之竟／摂之江南沙門契沖」岩波書店版契沖全集第九巻底本

厚顔抄（序・内表紙外題）三巻　　和大　エ173

契沖撰　　〔江戸中期〕写（二筆）

原表紙　押八双あり　表紙貼紙墨書「鑑査　三巻／第五七〇〇号」外題「厚顔鈔」内題「日本紀和歌畧註上」（第一冊）「日本紀和歌畧註下」（第二冊）「古事記和歌畧註」（第三冊）見返し墨書「五十三枚」（第一冊）「四十壱枚」（第二冊）「三十七枚」（第三冊）元禄四年自序　ノドに丁付あり　印記「圓珠庵」奥書「享保八癸卯五月十一日　於小橋校合畢／墨付五十四葉」（第一冊）「以上墨付卅七丁」「宝永二年十月十八日比校畢　□□」「享保八癸卯五月上旬重而校合了」（第三冊・宝永二年奥書のみ朱筆）岩波書店版契沖全集第七巻底本

〔万葉集鈔〕　　和大　エ181

〔下河辺長流〕撰　　〔江戸前期〕写（一筆）

後補表紙　表紙貼紙墨書「鑑査　嶋之宮／第五七〇一号一巻」「第廿二号／壱冊」「嶋の宮勾乃池の放鳥人めに恋て池にかつかす／契沖自筆」朱筆書入あり　裏打紙に幕末明治期の圓珠庵の刷物や文書等を用いる　見返し墨書「二十三枚」

「明治第七十月／契沖師／自筆／六十四首／加納川／契実／修覆／廿六丁章／内十十一十二紛失」旧資料名「嶋の宮」朝日新聞社版契沖全集附巻長流全集上巻底本

百人一首改観抄三巻

契沖撰　元禄五年写（〔下川如水〕・契沖）　和大　エ19 3

原表紙 押八双あり 表紙貼紙墨書「鑑査　三巻／第五七〇〇号」「第十八号／三冊」小口書「改観抄上（中・下）」見返し墨書「三十八枚」（第一冊）「三十六枚」（第二冊）「三十弐枚」（第三冊）朱筆書入及び墨筆補入は契沖筆 第一冊が如水筆 第二冊第三冊が契沖筆 ノドに丁付あり 印記「圓珠之印」「圓珠庵」奥書「故人長流注百人一首草稿未闋身已乗化七年于今矣（中略）元禄五年季夏契沖跋」（訓点略）岩波書店版契沖全集第九巻底本

古今余材抄（奥書・外題）一〇巻

契沖撰　元禄五年写（老兄〔下川如水〕）　和大　エ20 10

原表紙 押八双あり 小口書「余材一（～十）」見返し墨書「七十六枚」（第一冊）「七十六枚」（第二冊）「五十五枚」（第三冊）「六十枚」（第四冊）「五十三枚」（第五冊）「六十枚」（第六冊）「六十七枚」（第七冊）「五十枚」（第八冊）「七十七枚」（第九冊）「八十二枚」（第十冊）朱墨補入貼紙の大半は契沖筆（一部後代の別筆あり）ノドに丁付あり 第一冊末尾に「神道／古今春哥下／桜ちる花の所云々」とある近代紙片を挟む 印記「圓珠庵」奥書「古今余材抄十巻先年撰之雖然草稿汗穢自猶不得読由此誂老兄去年写彼草稿畢日月荏苒校訂延而及今愚案之中若有一両義之可取庶

補童蒙矣／元禄五年仲秋廿五日　密門釋契沖記之」「再記仮名依日本紀万葉集咏名鈔等後人莫恠之」岩波書店版契沖全集第八巻底本

勝地通考目録（外題）

契沖撰　〔江戸前期〕写（契沖）　和半　エ21 1

原表紙　押八双あり　表紙貼紙墨書「鑑査／一巻／第五六九九号」「第二号」内表紙墨書「契沖」見返し墨書「真書紙数／十九枚」ノドに丁付あり　印記「圓珠之印」岩波書店版契沖全集第十一巻底本

類字名所補翼鈔八巻

契沖撰　元禄十年写（契沖）　和半　エ22 8

原表紙　押八双あり　表紙貼紙墨書「鑑査／八巻／第五六九九号」「第四号／八冊」内表紙墨書「契沖」（各冊）第一冊内題「勝地一覧」見返し墨書「三十六枚」（第一冊）「弐拾九枚」（第二冊）「四十枚」（第三冊）「弐十六枚」（第四冊）「弐十五枚」（第五冊）「四十三枚」（第六冊）「拾七枚」（第七冊）ノドに契沖筆丁付あり　印記「圓珠庵」奥書「元禄十年四月十九日一部七巻抄出了　密宗沙門契沖」（第七冊末尾）岩波書店版契沖全集第十一・十二巻底本

類字名所外集七巻

契沖撰　元禄十一年写（契沖）　和半　エ23 7

原表紙 押八双あり 表紙貼紙墨書「鑑査／七巻／第五六九九号」「第五号／七冊」内表紙墨書「契沖」（第一冊・第二冊）見返し墨書「三十三枚」（第一冊）「弐十五枚」（第二冊）「三十三枚」（第三冊）「弐十六枚」（第四冊）「弐十八枚」（第五冊）「三十一枚」（第六冊）「三十八枚」（第七冊）ノドに契沖筆で墨書「続一覧」及び丁付あり 印記「圓珠庵」奥書「元禄十一年十一月十七日抄之畢」岩波書店版契沖全集第十二巻底本

勝地吐懐編三巻

契沖撰　　元禄九年写（契沖）　　和半　　エ243

原表紙 押八双あり 表紙貼紙墨書「鑑査三巻／第五六九九号」「第三号／三冊」内表紙墨書「契沖」（各冊）見返し墨書「紙数四十三枚」（第一冊）「紙数五十五枚」（第二冊）「紙数五十一枚」（第三冊）ノドに契沖筆で墨書「吐懐編」及び丁付あり 印記「圓珠之印」奥書「元禄九年八月廿八日／契沖」（第二冊末尾）「元禄九年九月六日三巻抄出畢先有一巻合四巻草稿成訖／神通乗沙門契沖」（第三冊末尾）岩波書店版契沖全集第十一巻底本

〔大和名所記抜書〕

〔林宗甫〕撰　　〔江戸前期〕写（〔契沖〕）　　和半　　エ251

後補表紙 各丁表右肩の丁付は後補による別筆 印記「圓珠庵」旧資料名「大和国地名類字」大阪府立中之島図書館整理資料名「無名書」岩波書店版契沖全集第十二巻底本

勅撰名所和歌抄出二巻　和大　エ262

宗碩編　〔江戸初期〕写（一筆）

紙釘装 原表紙 表紙貼紙墨書「鑑査　上下二巻／第五七〇三号」「第四十三号／上下二冊」外題「勅撰名所和歌抄上」（第一冊）「勅撰名所和歌下」（第二冊）見返し墨書「八拾五枚」（第二冊）契沖筆朱墨書入あり 印記「圓珠庵」奥書「此勅撰名所和哥為連歌用意宗碩法師抄出之分而為上下二冊（中略）永正丙寅林鐘上澣　三条前内府　槐陰散人」識語「角之房／祐雅」（第一冊末尾）旧資料名「勅撰名所和歌抄上下」

うつほ物語の歌・うつほ物かたりの詞　和半　エ271

闕名者撰　〔江戸前期〕写（〔下河辺長流〕）

後補表紙 表紙貼紙墨書「鑑査／第五七〇一号」「第廿壱号／壱冊」見返し墨書「五十六枚」裏打あり 契沖筆朱筆書入あり ノドに丁付あり 印記「圓珠庵」識語「此うつほも大虫入にてやむこと得す裏打表紙調／八世実仁／契乗」旧資料名「うつほ物語の歌くらひらきの巻」

勢語臆断（外題）四巻　和大　エ284

契沖撰　元禄五年写（老兄〔下川如水〕）

原表紙 押八双あり 表紙貼紙墨書「鑑査　四巻／第五七〇一号」「第十九号／四冊」小口書「臆断一（～四）」見返し墨書「五十三枚」（第一冊）「四拾四枚」（第二冊）「六十一枚」（第四冊）契沖筆朱墨校訂書入あり ノドに墨書「勢

語上之上」等及び丁付あり 印記「圓珠庵」奥書「右此勢語臆断四巻先年艸之然其稿本甚汗穢自猶不得読仍去春誂老兄写彼稿本然猶無閑暇不能校合近日得暇故一校以加改正畢／元禄五年季秋初三　密乗桑門釈契仲」「再記仮名依日本紀万葉集和名鈔等後覧之人莫恠之矣」岩波書店版契沖全集第九巻底本

晩華和歌集（序・外題）二巻　和枡　エ292

下河辺長流撰〔契沖〕編　貞享三年写（〔契沖〕）

折紙列帖装 原表紙 押八双あり 表紙貼紙墨書「鑑査　上下二巻／第五七〇二号」「第卅三号／二冊」貞享三年契沖序 印記「圓珠庵」明治書院刊和歌文学大系六九底本

詠百首和謌　和半　エ301

契沖撰　〔江戸中期〕写（一筆）

包背装 後補表紙 表紙貼紙墨書「鑑五七〇一号／詠百首和謌　全」「第二十四号／壱冊」岩波書店版契沖全集第十三巻底本

〔釈教歌抜書〕　和横　エ311

闕名者撰　〔江戸前期〕写（一筆）

原表紙 表紙貼紙墨書「鑑査／第五七〇二号／一巻／金葉集」『色葉和難集』（エ113）と同筆 旧資料名「金葉集雑下」

馬内侍集・相模集・康資王母集・殷富門院大輔集・後堀河院民部卿典侍集　和大　エ321

〔源時明女〕・相模・康資王母・殷富門院大輔・〔伝〕後堀河院民部卿典侍詠　〔江戸前期〕写（一筆）

原表紙 押八双あり 表紙貼紙墨書「鑑査　一巻／第五七〇二号」小口書「五女家集」契沖等二筆朱墨校訂書入あり 印記「圓珠庵」「貞」旧資料名「馬内侍集外四種」

清輔朝臣家集　和大　エ331

〔藤原〕清輔撰　元禄十一年写（契沖）

原表紙 押八双あり 外題「清輔家集」表紙貼紙墨書「鑑査　一巻／第五七〇二号」「第卅一号／壱冊」小口書「清輔集」契沖筆朱墨書入あり 見返し墨書「三十五枚」ノドに契沖筆丁付あり 奥書「元禄十一年六月四日　神通乗教契沖」契沖奥書前に「東野州聞書第四」として「一人丸影ハ兼房夢に見奉りて」云々とあり 旧資料名「清輔家集」

散木奇謌集八巻補配二巻　和大　エ342

源俊頼撰　〔江戸前期〕写（〔契沖〕等二筆）

原表紙 押八双あり 外題「散木奇謌集自一至四上」「散木奇歌集自五至八下」表紙貼紙墨書「鑑査　二巻／第五七〇〇号」「第十七号／二冊」小口書「散木上（下）」第一冊第二丁裏墨書「六拾五枚」第二冊見返し墨書「百六枚」契沖等二筆朱墨校訂書入あり 巻一より巻八は契沖筆 巻九・十は他筆 ノドに墨書「散木」あり ノドに丁付あり 印記「圓珠庵」

万葉抄二〇巻　和大　エ35 1

宗祇撰　〔江戸前期〕写（一筆）

原表紙　表紙貼紙墨書「鑑査　一巻／第五七〇三号」表紙右下端墨書「別ニ有之」小口書「万葉抄全」内表紙墨書「万葉集抄　宗祇法師」巻一及び巻二〇に契沖筆朱墨書入あり　印記「圓珠庵」奥書「私云借用註本是まて少々書写し侍ぬ（中略）万一御一見の人は御筆を加給へき者也」識語「東本願寺所献也」

古歌拾遺（外題）　和大　エ36 1

闕名者撰　〔江戸前期〕写（一筆）

原表紙　押八双あり　表紙貼紙墨書「鑑査　一巻／第五七〇〇号」「第十六号／壱冊」見返し墨書「六拾六枚」契沖等二筆朱墨校訂書入あり　ノドに丁付あり　岩波書店版契沖全集第十五巻底本

〔住友周富十七回忌追悼歌集〕　和大　エ37 1

入江友俊等詠　延享五年写（入江友俊カ）

原表紙　外題「味歌題林愚抄夏述懐」表紙に鉛筆書「住友ー」延享五年入江友俊序「契沖著述稿本類」の外　旧資料名「和歌題林愚抄内述懐」

〔諸書抜書乙〕　和升　エ38 1

〔江戸前期〕写（〔契沖〕）

後補表紙　表紙貼紙墨書「鑑査／第五七〇三号」「第四十号／壱冊」見返し墨書「真書／紙数四十一枚」見返し裏墨書「圓珠庵什宝」不審紙あり　朱墨書入あり〔百錬抄巻八承安四年五月二十八日条二行分〕・本朝麗藻巻下・凌雲集・文華秀麗集・経国集・無題詩巻下・菅家文草・伝述一心戒文・扶桑略記などの抜書　「六十九」より「百八」までノドに丁付あり（八十八を欠くが本文に脱落なし）旧資料名「本朝麗藻巻下」

〔諸書抜書甲〕

和升　エ391

〔江戸前期〕写（〔契沖〕）

後補表紙　表紙貼紙墨書「鑑査／第五七〇三号」「第卅九」見返し墨書「真書／紙数六拾九枚」見返し裏墨書「圓珠庵什宝」朱筆書入あり　印記「圓珠庵」「大成号」　〔本朝無題詩〕・西宮記・類聚国史・扶桑略記・百錬抄などの抜書　「一」より「六十九終」までノドに丁付あり　旧資料名「暮春於醍醐寺即事」

日本続文粋中密門文類（外題）

和半　エ401

〔伝藤原季綱〕編　〔江戸前期〕写（契沖）

原表紙　表紙墨書「契沖」表紙貼紙墨書「鑑査／第五七〇二号／一巻」「第廿九号／壱冊」印記「圓珠庵」契沖他朱筆校訂書入あり　本朝続文粋抜書　巻末に栄花物語・源氏物語夕霧巻・狭衣物語・和名鈔・東鑑抜書ありノドに契沖筆丁付あり

凌雲集

小野岑守等奉勅編　〔江戸前期〕写（一筆）　和大　エ41 1

原表紙　押八双あり　表紙貼紙墨書「鑑査　全／第五七〇二号」「第卅四号／壱冊（釈九寸巾七寸）」契沖校訂書入移写　不審紙あり　ノドに丁付あり　印記「貞」奥書「元禄十一年三月廿二日以松下見林翁之本校此今井自閑翁之本竟注異者則見林本矣予先借自閑本謄写当時見借佗在余所故正此本為彼末也密乗沙門契沖記」

朝野群載要摘（内表紙外題）

〔三善〕為康撰　〔江戸前期〕写（一筆）　和大　エ42 1

原表紙　押八双あり　表紙貼紙墨書「鑑査　一巻／第五七〇一号」「第二十号／壱冊」見返し墨書「六十枚」内表紙墨書「契沖」契沖筆朱墨校合書入あり　ノドに契沖筆で「朝野」及び丁付あり　冒頭一丁は江吏部集抄出　内表紙識語「松下見林本七帖注云　第一一二三（現存）第二四五六（同上）第三七八九（十闕）第四十一十二十三（十四闕）第五十五十六十七（十八十九闕）第六廿廿一廿二（廿三廿四廿五闕）第七廿六廿七廿八（廿九卅闕）」

類聚国史

〔菅原道真〕撰　〔江戸前期〕写（契沖等五筆）　和大　エ43 13

存巻四・四（重複）・五・五（重複）・一一・一六・三一・三二・三六・四〇・五四・七一・七二・七四・七五・七八・八七・一〇一・一〇七・一四七・一五九・一六五・一七三・一七七・一八〇・一八五

後補表紙　表紙貼紙墨書「第四十一号　鑑査第五七〇三号／第四第四第十一第三十一第三十六第三十七／第七十一第七十四第八十一第百一第百七／第百六十五第百七十七／以上十三巻／卅一年八月十日改」契沖他筆朱筆校訂書入

あり 巻一四七を収む冊の外題「文部国史律令格式・撰書類聚国史巻第卅七」と巻号を誤る 巻一八五奥書の前に切取痕あり 印記「圓珠庵」付帯折紙「類聚国史第四／内／神祇部／伊勢斎宮離宮附出／伊勢神部離宮附出／此分二冊ニ相成候得共一冊ハ他筆ニ御書候／已上十三巻」巻四奥書「建長元年十月二日見了／比校了　広俊」巻一五九奥書「大治元年九月廿二日　儀兼比校了此一行如旧本」巻一八五奥書「類聚国史者菅家依　宇多天皇之勅撰之但三代実録者後人加之歟載三代実録序彼序有宰府遷謫之事明知有後人増加矣／〔破損〕日〔破損〕沙門契沖」

続日本紀要略（外題）

〔菅野真道〕等奉勅編　　元禄十一年写（契沖）　　和半　　エ441

原表紙 表紙貼紙墨書「鑑査／第五七〇〇号／一巻」「第九号」表紙墨書「契沖」「五十七枚」朱筆書入れあり ノドに契沖筆丁付あり 奥書「元禄十一年二月廿九日続日本紀四十巻校合之次略抄竟／密宗沙門契沖」

日本後紀略要（外題）

〔藤原冬嗣〕等奉勅編　　元禄十一年写（契沖）　　和半　　エ451

原表紙 表紙貼紙墨書「鑑査／第五七〇〇号／一巻」「第十一号」表紙墨書「契沖」見返し墨書「三拾枚」朱筆書入れあり ノドに契沖筆丁付あり 奥書「元禄十一年八月十七日写訖」

続日本後紀要略（外題）

〔藤原良房〕等奉勅編　〔江戸前期〕写（〔契沖〕等二筆）　和半　エ462

原表紙 表紙貼紙墨書「鑑査／第五七〇〇号／二巻」「第十号／二冊」表紙墨書「介伊智宇」「弐拾六枚」（第一冊）「契沖」「八ノ内」「廿巻記仁明天皇御宇」（第二冊）見返し墨書「三十貳枚」契沖筆朱墨書入あり ノドに契沖等筆丁付あり

文徳実録・三代実録・続日本後紀

〔藤原基経〕等奉勅編　〔藤原時平〕等奉勅編　〔藤原良房〕等奉勅編　〔江戸前期〕写（〔契沖〕）　和半　エ471

後補表紙 外題「文徳実録」内表紙墨書「文徳実録／和歌下（上三字抹消）」各抜書 契沖筆朱墨書入あり 裏打あり 各丁表左下に後補丁付あり 印記「圓珠庵」旧資料名「文徳実録要略」

三代実録要略（外題）

〔藤原時平〕等奉勅編　元禄十一年写（契沖）　和半　エ481

原表紙 表紙貼紙墨書「鑑査／第五七〇〇号／一巻」「第十二号」表紙墨書「契沖」「大鳥居孫四郎者和田和泉守之家士也」見返し墨書「五拾弐枚」朱筆書入あり ノドに契沖筆丁付あり 奥書「元禄十一年九月五日／金剛乗沙門契沖」

延喜式中抜要

〔藤原忠平〕等奉勅編　元禄十年写（契沖）　和半　エ491

原表紙 外題「延喜式取要」表紙貼紙墨書「鑑査／第五七〇〇号／一巻」「第十三号」表紙墨書「契沖」「弐十九枚」ノドに契沖筆丁付あり 巻末に続日本紀・延喜式からの抜書あり 奥書「元禄十年臘月廿八日／契沖」旧資料名「延喜式取要」

延喜式中密門宝鍵（外題）

〔藤原忠平〕等奉勅編　　元禄十年写（契沖）　　和半　　エ501

原表紙 表紙貼紙墨書「鑑査／第五七〇二号／一巻」「第卅号」表紙墨書「契沖」「八ノ内」ノドに契沖筆丁付あり 不審紙あり 印記「圓珠庵」奥書「右延喜式五十巻中抜預密教矣／元禄十年歳次丁丑十二月廿日／釈契沖」

河社（外題）

契沖撰　　〔江戸前期〕写（〔契沖〕）　　和半　　エ512

原表紙 押八双あり 表紙貼紙墨書「鑑査　二巻／第五七〇一号」「第廿五号／二冊」第二冊内表紙墨書「沖師／真筆七十枚（印記「桑門契沖」）」印記「圓珠之印」料紙に『河社』『厚顔抄』『古今余材抄』草稿の紙背を用いるノドに契沖筆丁付あり 識語「已上直筆七十六枚（印記「桑門契沖」）／圓珠草庵／什寶（印記「圓珠之印」）」（第一冊末尾）「已上真筆七十まへ（印記「桑門契沖」）／圓珠庵／什宝（印記「圓珠之印」）」（第二冊末尾）

雑記（外題）

〔契沖〕撰　　〔江戸前期〕写（〔契沖〕）　　和半　　エ521

原表紙 表紙貼紙墨書「鑑査／第五七〇〇号／一巻」「第十四号」表紙墨書「契沖師真筆」見返し墨書「三拾二枚」ノドに契沖筆丁付あり 虫損大

本朝書籍目録

闕名者撰　〔江戸前期〕写（一筆）　和横　エ53 1

原表紙 表紙貼紙墨書「鑑査　一巻／第五七〇一号」「第廿八号／壱冊」朱墨校合書入あり ノドに丁付あり 巻末に八雲御抄学書条の抜書あり 永正二年師名奥書（本朝書籍目録）

訳文筌蹄五巻 存巻一至三

〔荻生徂徠〕撰　〔寛保三年〕写（〔□元〕）　和半　エ54 1

印記「圓珠庵」もと『訳文筌蹄』（エ55 1）と一具のもの 版本『訓訳示蒙』と同内容「契沖著述稿本類」の外

訳文筌蹄五巻 存巻四至五

〔荻生徂徠〕撰　寛保三年写（□元）　和半　エ55 1

後補表紙 外題「譯文筌蹄助語」「昌言」説頭書あり もと『訳文筌蹄』（エ54 1）と一具のもの 版本『訓訳示蒙』と同内容 奥書「寛保第三癸亥年十一月書写ス　□元」識語「此書ハ八世実仁大虫入候て裏打等修復致候／契乗書」「契沖著述稿本類」の外

上水戸源相公万葉集代匠記序

〔契沖〕撰　〔江戸前中期〕写（〔契沖カ〕）　和巻　エ56 1

端裏貼紙墨書「鑑□／第五六九七号」「第四十九号」初稿本系統 旧資料名「上万葉集代匠記序」岩波書店版契沖全集第一巻底本

〔契沖阿闍梨追悼詩歌〕

安積覚等十一名詠　〔江戸前期〕写（一筆）　和巻　エ57 1

端裏貼紙墨書「第四十五号」巻末に作者目録あり 朝日新聞社版契沖全集第九巻底本（「哀傷詩歌」の中）

遺言

〔契沖〕撰　〔江戸前期〕写（〔契沖〕）　和掛軸　エ58 1

端裏書「契沖阿闍梨遺言／大正三年夏／契運修覆」旧資料名「契沖阿闍梨遺言状」岩波書店版契沖全集第十六巻「遺文集」底本

百人一首改観抄奥書写・〔下川如水略伝草稿〕

契沖・闕名者撰　〔江戸前期〕写（二筆）　和掛軸　エ59 1

端裏書「契沖筆」端裏貼紙墨書「奥書百人一首改観抄一巻／鑑査／第五七〇一号（以下鉛筆書「幼稚筆／同軸」）」〔下川如水略伝〕識語「此一紙ハ先師契沖大徳幼稚の時之書筆と伝来之／契猛」旧資料名「百人一首改観抄奥書写」〔下川如水略伝草稿〕は朝日新聞社版契沖全集第九巻底本（「圓珠庵文書断簡」）

（了）